

自然感

# くすのき

yumi



## 季節感

秋の気配と伴に、あちこちの山野に群れ咲く。『仙人草』と良く似た花だが葉が違う、名前の如く牡丹の葉に似ているから...

『ポタンヅル』

平成20年9月1日  
前原市高祖 高祖神社  
大塚俊樹



## 熊海居人独言

# 30

クマは毎朝起きるとまず部屋の雨戸を開けて宝満山を眺め今日の天気を予測する。宝満山近くに家を建て、引っ越してから30年目である。家にいるときは、毎日宝満山を眺めている。宝満山に親しみ本格的に登りだしたのは中学生3年生の頃からで、高校に入学し山岳部に所属してからは月に2~3回は泊まり込み、山頂付近の岩場を這いずり回っていた。半世紀以上前のことである。この頃、秋に三郡山方面まで足を伸ばすと、よく鋸を持って木を切っている山仕事人と出会っていた。山麓の炭焼の人達である。時には炭焼窯まで連れて行かれ、炭焼窯の火を眺めながら共に一升瓶を傾けながら夜を明かすこともあった。

この時代までは、宝満山の山頂付近(竈門神社の神域)以外は、宝満山から三郡山にかけては尾根筋まで背丈の低い雑木林で覆われ、典型的な里山の姿であった。茅場(ススキ草原)や榛莽地(低木を含むブッシュ)など、山体の殆どは地元住民の生活の場の一部であり、現在の鬱蒼と茂った緑の林の姿とは全く違っていた。

今、クマは宝満山研究会という団体に所属し、宝満山の保護に取り組んでいる。宝満山には多くの遺跡が眠っている。宝満山が歴史に登場するのは西暦664年頃からで、太宰府の鬼門よけに竈門山(宝満山の古名)に八百満神(やおよろずのかみ)を祀ったとされている。中世には370の僧坊があったと言われ、江戸時代には25坊があって、修験者とその家族達が山中で生活していた。山中には今でも古名が沢山残っている。

しかし、近年困ったことが起きている。それは、歴史を知らない登山者達が勝手に山道や地名を創作し付けていることである。桔梗ヶ原、うさぎ道、てんぐ道、長崎鼻などである。これらの名称は行政も地元にも断り無く使用している。クマは困ったものだと思う。皆さんはどう思われるか、考えてみてください。

## 自然観察会 能古の海岸を楽しもう!!

- 【開催日】 2008年10月5日(日)  
少雨決行(荒天等の為中止の場合は、事前連絡)
- 【自然案内人】 田村 耕作 (有)クラブード主宰
- 【内容】 砂浜や磯の植物や生きもの、漂着物を観察しながら、島の西側の海岸を散策。
- 【時間】 フェリー 10:15 姪浜発 ~ 10:25 能古島到着  
~ 能古渡船場横に係留中のイルカ2世号の前の海岸で受付  
(渡船場から左)  
14:00~14:30 終了予定
- 【定員】 20名 (小学生低学年以下は保護者同伴)
- 【参加費】 大人 500円 小学生以下 300円 (保険代込)  
交通費が別途必要 / フェリー往復 440円(大人) 子供半額
- 【持ち物】 お弁当、飲み物、リュック、筆記用具、雨具(カッパ等)、ゴミ袋、  
双眼鏡(お持ちの方のみ)
- 【服装】 歩きやすい靴、帽子
- 【締め切り】 9月30日(火)
- 【その他】 当日はコスモスの開花時期と重なっており、姪浜渡船場の駐車場が満車の可能性がありますので、できるだけ公共交通機関を御利用下さい。
- 【申込・お問合せ先】 NPO環境未来センター希望  
TEL 092-522-8332(月~金) FAX 092-522-8308

## 皿倉山観察会

~ 巨木(皇后杉)を見てほしい ~

- 【開催日】 10月12日(日)
- 【集合場所】 JR八幡駅
- 【集合時間】 13:00
- 【利用乗り物】 シャトルバス・ケーブルカー
- 【終了時間】 17:00 JR八幡駅

皿倉山の裏に在る権現山を一周(高低差なし)、徒歩1時間のコースです。駅からシャトルバス・ケーブルカーを利用して移動に30分。北九州市としては日本三大夜景を楽しんでほしくて、遅くまでシャトルバス・ケーブルカーを運行しています。よかったら夜景を楽しんでください。

【案内人】 佐々木良子  
(携帯) 080・6422・2521



**日本野鳥の会福岡支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

9/21(日) 10/19(日)  
天拝山探鳥会（筑紫野市）  
時間：9:00～12:00  
集合：天拝山歴史自然公園  
問合せ：092-920-7112（山本勝）

9/27(土) 10/25(土)  
久末ダム探鳥会（福岡町）  
時間：8:00～11:00  
集合：久末ダム多目的広場横駐  
車場（管理事務所下）  
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

10/5(日)  
今津探鳥会（福岡市西区）  
時間：9:00～12:00  
集合：玄洋高校西側道路  
問合せ：092-891-9005（神園道男）

10/11(土)  
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
時間：9:00～12:00  
集合：ポート乗り場前  
092-573-1827（森健児）

10/12(日)  
和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
時間：9:00～12:00  
集合：JR 和白駅前公園  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

9/23（秋分の日）月例探鳥会  
ハチクマなどタカの渡を観察  
能古島 集合 能古島市営渡船場前  
8:15～13:30 長井 092-891-8396  
片江展望台 集合 片江展望台  
9:00～16:00 小野 092-592-3423

**日本野鳥の会筑後支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

9/28(日)  
濃施山公園（みやま町）  
時間：9:00～  
集合：公園内すいせん橋  
0944-58-1672（野田）



**福岡植物友の会 主催**

9/21(日)  
菊池溪谷（熊本県）  
スズムシバナ、イワタバコ他  
詳細は：092-947-6536（大吉博子）

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

10/4(土)  
宝満川の土手  
時間：9:30～12時30頃  
集合：津古駅東側集合 その後車  
で移動します。  
問合せ：092-920-3072（松永）

要：保険料  
エフコープさんの環境助成金で自然  
観察冊子ができあがりしました。冊子は  
観察会のたびに配布します。欲しい方  
は観察会にご参加ください。



**和白干潟を守る会 主催**

9/27(土)  
守る会定例会議  
時間：10:30～12:30  
集合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

9/27(土)  
クリーン作戦 と自然観察会  
時間：15:00～17:00  
集合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

**久留米の自然を守る会 主催**

10/12(日) 第362回例会  
ネイチャーゲームと自然観察会  
四季の森を通り森林公園までの竹の  
子コースを歩きます。昼食後ゲーム  
をして、谷コースで下山します。時  
間：9:30～14:30  
集合：高良内幼稚園駐車場  
参加費：無料  
問合せ：0942-46-8622（古賀）



**福岡市油山自然観察の森 主催**

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・  
電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

10/12(日)  
草木染め  
～オリジナルハンカチをつくろう～  
サクラの落ち葉やススキなどの草  
木を使い、染色を楽しみます。  
対象：一般  
申込み：往復はがきで10/4必着  
定員：20人  
参加費：500円（材料費込み）



問合せ：油山自然観察センター  
参加費：100円  
〒811-1355  
福岡市南区松原夫婦石 855-1  
TEL：092-871-2112  
開館 9:00～16:30（月曜休館）

## 第7回 「総合的な学習の時間」と「曾根干潟のカブトガニの産卵を中心とした生活」

國廣 勝

### (17) 【貫川河口、夜間ひき潮に乗って背泳、干潟へ旅立つ一齡幼生の姿】

貫川河口で一齡幼生の孵化分散の観察を続けました。貫川河口の干潟への降り口は終夜、水銀灯の青白い光が月明かりのように水面を照らし、かなり明るい状況です。きっと夜間の満潮ひき潮時に、海底に着床待機している幼生が常時浮上しているのではと思い、それを見に行きました。



結果は予想どおり、ゆるやかな引き潮に乗って、ひらひら泳ぐような動きで、流されていく白いものがあちこちに発見できました。双眼鏡で見ると、一齡幼生の背泳です、魚や他の天敵に出会うことなく干潟に行き着くのだろうか、この内の何十万、何百万分の一の個体が二億五千万年の命をリレーして行くのかと思うと、何だか不思議な感覚にとらわれます。

### (18) 【分散待機中の休眠一齡幼生】（一齡幼生の越冬休眠観察一回目）平成十五年九月三十日。

「日本カブトガニを守る会」大分県支部の西原繁朝さんより、以前にいただいていた「一齡幼生の出現調査」（杵築湾平成七年九～十一月）の資料によると、その年の十月二十六日、水温20弱まで観察されています。曾根干潟ではどうなのでしょう。八月の満月の大潮に産卵されたのは後の気象状況如何によっては、その年の内に干潟への分散の機会を失う可能性が高そうです。

写真は貫川河口左岸、海床路への降り口堤防下で平成十五年九月三十日、六年生と幼生の越冬観察をおこない、十五センチ程掘って出てきた一齡幼生です。



### (19) 【休眠中の一齡幼生の確認】（越冬観察二回目）平成十五年十一月二十六日

この日の観察では、一齡幼生は腹側に「カギ型」に折れ曲がり、休眠にはいっているらしく全く身動きをしません。写真撮影の後、そっと埋め戻しておきました。



### (20) 【越冬観察三回目】平成十五年十二月九日。



再度確認に行き四、五匹フィルムケースに入れて持ち帰り、撮影準備をしている内に室内暖房で暖まったのか、なんと折れ曲ったまま、いざりはじめたのです。すぐには戻れないほどなぜ「く」の字に曲がっているのか不思議でした。多分お腹の弱い部分を保護する為なのかも知れません。

一齡幼生は脱皮して二齡幼生になるまで餌は採らないといわれます。メダカは孵化してすぐは、お腹に卵ノウをぶら下げていますが、カブトガニは背中の中甲の内側に背負っているらしく、甲羅の下が黄色く見えるのは、産まれたときに親が持たせてくれた「おべんとう」で、卵黄の色なのだそうです。

(21) 【一齡幼生越冬最終確認】(平成十六年三月二十五日越冬観察四回目)

何回も掘るのは幼生に負担になると考え、三月まで待ちました。みんなカメラを構えて待ちましたが、ついに幼生は現れず、いくら探しても痕跡もありません。何度も観察しているので、別に場所の目印はなかったのですが、場所を間違える筈はなく、多分干潟へ出ていった後かも知れないと思いながらも、少し範囲を広げて掘ってみました。子ども達はがっかりしていましたが、やっと二個の脱皮殻らしきものを発見しみな喜びました。

体は某直ぐにのびて鍵型には曲がっていないので、死骸ではなく脱皮殻のようです。しかしそれにしては腹側に脚と鰓の跡がまったく無くて甲羅のみです。砂の中でとれてしまったのか定かではありません。

それが写真の一齡幼生の脱皮殻らしきもので、硝子細工の様にキラキラと美しく、数は二個のみで他には全然見当らなかったのです。これまでに一齡幼生の脱皮殻は飼育のもので、ちゃんとしたものを一回発見したのみですが、これもとりあえず一齡幼生の越冬脱皮殻として写真整理しておきました。



(22) 【春、干潟で生活を始めた幼生】(干潟で活動の七齡幼生)

三月頃にはもう干潟で採餌活動を始める幼生を見る事ができます。しかしその殆どは五齡以上の幼生が多く、たまに二齡を発見する事もありますが、二~三齡の多くはまだ外敵に対する警戒心が強く、ほとんど夜間に索餌行動を行い、昼間はあまり活動しないそうです。幼生の甲羅の色も泥質干潟の色に合せて、黒い色に変わっており、発見がなかなか困難になってきますが、幼生探索は、方法をちょっと教えるだけで子ども達の方が見つけるのは上手です。



【あとがき】

これまで毎年、産卵期には異常なほど増えつづけてきたカブトガニも、平成十八年度は何故か、ぱったりと来浜つがい数が減ったようです。

今年の朽網川、貫川の昼間のみ私の産卵つがい数の確認では六月は0・七・八月の二ヶ月間で合計146つがいでした。これまで日中であっても六月に0という年はなかったのです。恐らく曾根干潟全体の産卵つがい数も、昨年とは比較にならないほど激減しているのではないのでしょうか。今年度は一回大変な赤潮発生はあったものの、異常気象がカブトガニだけに被害を与えたような徴候も見られず、ひょっとしたらカブトガニ自身の、これまでの異常増加に対する自己抑制機能が働き、産卵数のコントロールが始まったのではないかと、異様な感じさえ起こさせます。カブトガニだけではなく生き物の世界というのは、考えれば考えるほど不思議に満ちています。私たちに何を伝えようとしているのか、いや、私たちがどう観ていけばいいのか、これから先の観察が大切になってきた様に思います。

今回、自然史友の会誌100号記念への投稿に際し、私がこれまでに約十年間見てきたカブトガニについて、不十分ながら写真を主とした感想文としてまとめてみました。先にもすこし記しましたが、これがカブトガニの全てではありません、彼らの生態的な仕組みの中にも二億五千万年も命をつないできた秘密が沢山秘められていると思います。「曾根地域の宝」です。ぜひ「総合的な学習の時間」に観察を通じて子ども達に体感させてやって下さい。

【参考文献】

- (1) 「カブトガニの生物学」増補版 関口晃一 編
- (2) 「カブトガニの不思議」「生きている化石」は警告する 岩波文庫 関口晃一 著
- (3) 生きている化石 カブトガニからのメッセージ 惣路紀通 著 ヒサクニヒコ 絵
- (4) 「守江湾のカブトガニ」調査報告集-1995年  
(2)一齡幼生の出現調査 5~6p 大分県杵築市 杵築市カブトガニ保護推進委員会 西原繁朝 編
- (5) 「カブトガニ」日本の希少な野生水生生物に関するデータブック  
水産庁 編 (財)日本水産資源保護協会
- (6) 「カブトガニ」の朽網川、貫皮両産卵場にイ置ける、日中のみ産卵つがい数の観察記録  
(2006年6・7・8月中) 國廣 勝



主催：佐賀県、(財)日本自然保護協会、ネイチャー佐賀、九州自然協議会

# 生物多様性 地球温暖化 今こそ「自然を守る」とき

## あなたの参加をお待ちしています

# 第425回NACS-J自然観察指導員講習会

## 佐賀県開催のご案内

開催日：2008年11月22日(土)～24日(月) 雨天実施

「NACS-J自然観察指導員」は、身近な自然を守る自然保護教育（環境教育）を行うボランティアリーダーです。講習会では、自然の見方、自然保護の考え方、自然観察の手法を学び、自然を見る目を養います。私たちは、「自然かんさつからはじまる自然保護」を合い言葉に、身近な自然をフィールドにして、自然の楽しさ・不思議さ・喜びを伝え、自然とのつきあい方を考える自然観察会を広める活動を30年間続けています。佐賀県をはじめ、日本の自然を守りもっとよくするために、あなたも全国の仲間と一緒に始めませんか。

会 場：波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市鎮西町名護屋 5581-1） 現地集合・解散

費用（予定）：一般 2万円 / NACS-J会員 1万5000円

（2泊6食、受講料、初年度登録料、会費（裏面参照）テキスト代を含む）

定員・参加資格：60名（佐賀県内30名、県外30名 / 申込み多数の場合は抽選）

- ・満18歳以上で、講習会全日程の講義、実習を受講できる方。
- ・自然観察指導員として、地域での活動をすすめる意欲を持った方。
- ・申込み多数の場合は、受付締め切り後、厳正な抽選を行い、結果をご通知いたします。

申し込み方法：次の を、申込み受付期間内に裏面の宛先へ郵送してください。

申込書（裏面もご記入ください） 返信用封筒（定形長3型・90円切手貼付）

お申し込み期間：【佐賀県内の方】：2008年 9月1日～10月20日（必着）

【佐賀県外の方】：2008年10月1日～10月20日（必着）

動植物の名前を覚えることから始まるのではなく

目の前にある自然から、

自然のしくみやつながり、そして

人とのかわりに自ら気づいていく。

知識が先行するのではなく、

体験することを第一に考えた講習プログラムです。



キリトリ

### 第425回NACS-J自然観察指導員講習会・佐賀 申込書

ふりがな お名前	(男・女)	歳(生年月日	年	月	日)
ご住所 〒	-				
電話番号	( )	E-mail			
ご職業		所属団体			
日本自然保護協会(NACS-J)の会員ですか？(いずれかに印をつけてください)					
NACS-J会員です(会員No. ) / 家族が会員です					

NACS-J 第425回自然観察指導員講習会 日程表 (予定)

11月22日(土)		11月23日(日)		11月24日(月)	
6				個別野外実習	6
7				「テーマさがしとプログラムづくり」	7
8		朝食		朝食	8
9		野外実習		野外指導実習	9
10		「地域の自然を理解しよう」		「自然観察会をしてみよう」	10
11	受付	植物/動物/地形・地質		書類の提出/実習 まとめ	11
12	(昼食を済ませてお集まりください)	昼食		保険・登録の説明/閉講式	12
13	開講式			昼食後解散	13
14	野外実習	野外実習			14
15	「森を通して	「自然観察会のテーマ探し」			15
16	自然のしくみを見にいこう」	地域の指導員の活動紹介			16
17	自己紹介	フリータイム(入浴 夕食)			17
18	フリータイム(入浴 夕食)				18
19	講義	講義			19
20	「自然の保護を考えよう」	「自然の観察」			20
21					21
22	懇親会(自由参加)	懇親会(自由参加)			22

講師

- ・田畑 清霧 (自然観察指導員熊本県連絡会/八代自然観察会/熊本野生生物研究会/NPO法人水と緑生きものネットワーク熊本)
- ・小野木 三郎 (NACS-J元参与/元 高山短期大学飛騨自然博物館学芸員兼講師/岐阜県自然観察指導員連絡会会長/岐阜県自然環境保全連合会会長)

NACS-J 自然観察指導員の登録とNACS-Jの入会

全日程を修了し、登録申請された方は、NACS-J 自然観察指導員として登録されます。NACS-J 自然観察指導員は、「資格」ではなく、自然保護のためにボランティアとして地域で活動して下さる方を「登録」する制度です。また、登録の条件として「NACS-J 普通会員」であることとしています。会員でない方には、講習会の受講時に入会することが可能です。(NACS-J 普通会員の会費は年額 5000 円。22 歳未満で1-2歳会員への登録をご希望の方、すでにご家族が会員でファミリー会員への移行をご希望の方は 3000 円となります。)

個人情報の取扱に関するご案内

この申込書の提出にともない収集した個人情報は、第 425 回 NACS-J 自然観察指導員講習会・佐賀のためにのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacypolicy.html>) で、NACS-J におけるプライバシーポリシー (<http://www.nacsj.or.jp/privacy.html>) にて定めております。

お問い合わせ・お申し込み先

【佐賀県内の方】

佐賀県暮らし環境本部有明海再生・  
自然環境課自然環境担当  
〒840-8570 佐賀市城内 1-1-59  
TEL : 0952-25-7080 FAX : 0952-25-7521  
E-MAIL: ariakekaisaisei@pref.saga.lg.jp

【佐賀県外の方】

(財)日本自然保護協会(NACS-J)「第425回講習会」係  
〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル 2F  
TEL : 03-3553-4105  
E-MAIL: 2008@nacsj.or.jp <http://www.nacsj.or.jp>

自然観察会の活動暦や、参加の動機、今後の活動の希望をご記入ください。(150文字程度・書式自由)

当講習会をどちらでお知りになりましたか。

- 1、この募集チラシ 2、友人・知人の紹介 3、NACS-J ホームページ 4、職場の関係  
5、その他 ( )

## お知らせ

くすのき151号でお知らせした、NAIS福岡会員の池田友行さんの写真集『脊振讃歌』が、日本自然保護協会会報『自然保護』9・10月号の掲示板で紹介されています。

また、池田さんは、「脊振の魅力について」というタイトルで、RKBラジオに出演されます。

10月5日(日)午前9時~9時25分  
定時番組 林田スマのハートフルトーク

### 事務局からのお知らせ

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。  
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

**会費振込について**  
それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783  
年会費:2000円

**皆に知らせたいことはありませんか?**  
皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

**定例会に参加してみませんか?**  
本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで 自然案内舎(旬)クラブにて行っています。会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております!  
次回の定例会は、2008年**10月10日(金)**午後6時より事務局で行います。10月号の原稿は、9/29(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。宜しくお願いします。

### 他団体の会報の紹介

・福岡植物友の会 会報 第49・50巻 平成20年8・9月号

## これは何だろう!?



これは何だか  
解かりますか?

なんだか鳥が飛んでいるように  
見えませんか?

《前回(第157号)の解答》

公園等に植栽されたアオギリ(アオギリ科)の袋果です。星型の真ん中をつまみあげるとひとつの袋になります。果皮の縁についた6ミリくらいの種は親木にぶら下がった状態で茶褐色に熟していきます。



お問合せ: 福岡県自然観察指導員連絡協議会  
(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)  
代表: 冷川昌彦 / 事務局長: 小野 仁 /  
編集: 田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子 / 会計: 宮原俊彦  
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号  
ハイツ中村401  
自然案内舎(旬)クラブ内 TEL & FAX: 092-400-1765  
URL: <http://www.kurabird.com/>  
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

**編集後記** 2008年8/8定例発送会は、藤川渡・山本勝・鶴田義明・田村耕作が参加。大塚俊樹から欠席の連絡。YTから甘夏柑ジュース、MYからガーリックのパンの差し入れあり。このところ、雨の降り方がシャワーのようです。秋が始まっているのに夏のような雨の降り方ですね。

田字草

